

1 目的

東京都立武蔵台学園等と連携し、主に教員の授業研究を通して、知的障害特別支援学級の専門性の向上を図る。

2 期待する成果

○教員の授業力の向上 ○児童・生徒の自立に向けた教育の充実 ○小中高の一貫した指導の実現

3 平成29年度実施状況

(1) 授業研究(12月末現在)

・特別支援学校より講師を招聘、立川市教育支援相談員とともに指導・助言を行った。

	時期	学校・学級	内容
1	8月3日(木)	都立武蔵台学園	学校見学(教室、教材等)・教材研究
2	9月27日(水)	若葉小 たんぽぽ学級	国語 プレ研究授業・研究協議
3	10月10日(火)	若葉小 たんぽぽ学級	国語 3グループ授業・研究協議会
4	12月8日(金)	立川一中 I組	生活単元学習 「清掃技能検定」

※ 3回目は、小・中学校特別支援学級固定学級担任研修とタイアップ

(2) 成果

① 連携特別支援学校の拡大

- * 都立武蔵台学園…教材の活用、学校見学、授業研究での助言(障害の理解と配慮、指導の手立て等)
- * 都立羽村特別支援学校…研修会講師(特別支援教育コーディネーターの役割、校内支援体制の整備等)
- * 都立府中けやきの森学園…研究授業での助言(中学校清掃技能学習への助言、進路に関する助言等)
- * 都立久我山青光学園…研修会講師(視覚的認知、教材、ビジョントレーニングについて等)

② 授業改善

- ・小・中学校固定学級担任研修として研究授業を実施(参加者25人)
- ・研究授業に向けた事前指導の実施(指導の改善、児童・生徒の変容の見取り)
- ・中学校の固定学級でのキャリア教育の在り方の検討を開始(清掃技能学習を通じて)

4 平成29年度の課題

(1) 課題

- ① 初任者等の配置により研究授業対象校をさらに増やす必要がある。
- ② 中学校での研究成果をさらに普及・拡大させる必要がある。
- ③ 1校2回以上の研究授業の実施を継続。

○ 今後の改善策等

(2) 改善策等

- ① 中学校でのキャリア教育につながる授業研究の拡大
- ② 1校2回以上の授業研究の実施を継続
- ③ 新設校や開設級での指導体制の整備支援

5 平成30年度の取り組み計画

(1) 授業研究

- 学期3回程度、小・中学校にて授業公開(授業研究)を実施
- 新設学級への授業支援を実施
- 指導方法、教材、教室環境等について、助言、協議
- 参加者
 - ・知的障害特別支援学級担当教員
 - ・特別支援学校の特別支援教育コーディネーター
 - ・教育委員会(教育支援相談員、指導主事)

(2) 要請訪問

- 授業研究における指導方法や教材の活用についての助言
- 校内研修の講師 など
- 訪問者
 - ・鈴木教育支援相談員
 - ・教育委員会(教育支援相談員、指導主事)
 - ・その他

(3) 研修会等

- 年3回 小・中学校知的固定学級担任研修会の実施
- 要請に応じた校内研修の実施補佐
- 都立特別支援学校理解推進研修会等への参加案内
- 都立特別支援学校高等部清掃技能検定への参加案内及び見学案内など

【指導・助言の例】

- ・授業内容、指導案作成に関すること
- ・教室環境や教材や教具に関すること
- ・児童・生徒理解や指導、支援に関すること

【授業研究の協議内容例】

- ・本時の授業の評価
- ・授業改善の検討

【平成29年度】

- ・教室環境や教材や教具に関すること
- ・児童理解や指導、支援に関すること

【テーマの例】

- ・特別支援教育の理解
- ・障害特性に応じた指導方法
- ・教材・教具の工夫
- ・教室等の環境整備

平成30年度の年間予定

【1学期】.....

4月 授業公開校の状況を把握、打合せ

・事業対象校：第五小学校、立川第五中学校

・新設学級(まつのみ、若葉台小)立ち上げ支援開始

5月～7月 授業研究 ※毎月1回程度

【夏季休業中】.....

・武蔵台学園や青峰学園を訪問・見学、研修会

・都立特別支援学校公開講座等への参加

・都立特別支援学校高等部清掃技能検定の見学など

【2学期】.....

9月～12月 授業研究 ※毎月1回程度

10月11日(木) 授業研究(第五中学校)

※固定学級担任研修とタイアップ

【3学期】.....

1月 プランの評価(次年度の取組について)

1月～3月 授業研究 ※毎月1回程度